

特別救助訓練が開始されました

新年度が始まり、6月末日に京都市消防活動総合センターで開催される

京都府救助選抜会に向けて、大会に出場する隊員が日々訓練に取り組んでいます。

この訓練は消防救助活動に不可欠な体力、精神力、技術力を養うとともに、

乙訓管内の市民の安心、安全にもつながります。

また、京都府救助選抜会で勝ち抜いたチームは、8月末日に東京都で開催される

全国消防救助選抜会へ出場することができます。

引揚救助については、7月末日に**東近畿地区指導会**があり、この大会で勝ち抜いたチームが

全国大会への参加資格が得られます。

【各種目の紹介】

乙訓消防組合では、現在、以下の3種目の訓練を実施しています。

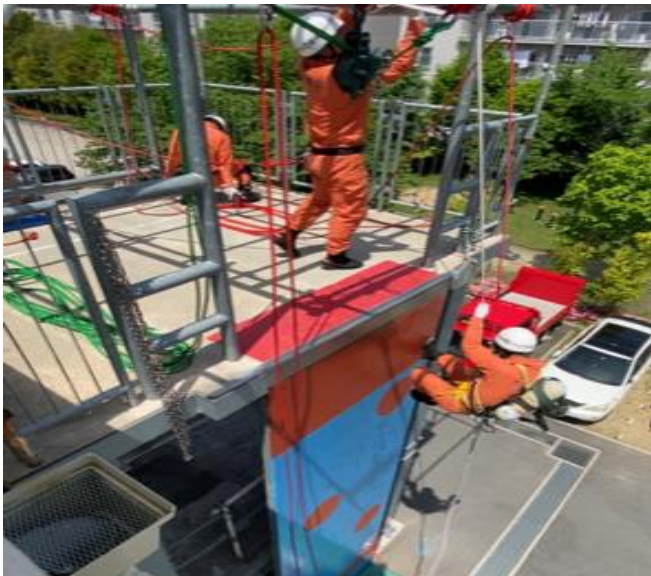
- ・ 引揚救助
- ・ ほふく救出
- ・ はしご登はん

【引揚救助】

地下やマンホール等での災害を想定した訓練です。

5人1組で2人が空気呼吸器を着装して訓練塔の上から下へ降りて要救助者を探した後、

訓練塔の下へ運び、4人で協力して訓練塔の上へ助け、ロープを登り脱出します。



【ほふく救出】

ビルや地下街等で煙に巻かれた人を救出するための訓練です。

3人1組で、1人が空気呼吸器を着装して8メートル進み、

要救助者にロープを巻き付けた後、屋外に救出、2人で安全な場所まで運びます。



【はしご登はん】

災害建物への進入等、消防救助活動には欠かせない訓練です。

ロープを巻き付けて命綱を作った後、垂直のはしごを15メートル登ります。

